



## 地元高校と連携した活動の実施

みのはら  
美野原広域協定 (群馬県吾妻郡中之条町)

あがつま なかのじょう

当初は、4つの土地改良区にそれぞれ活動組織があったが、事務の効率化と交付金の有効活用のため、平成29年に広域化し、一つの広域組織となった。

構成員の高齢化により施設の維持管理が難しくなっている中、地元の吾妻中央高校と連携して、水路の維持管理の基本となる水路図の作成、点検診断や簡易補修に取り組んでいる。

### 活動開始前の状況や課題

- 構成員の高齢化により施設の維持管理が難しくなることが予想されていた。
- 水路の適切な維持管理のための基礎資料となる水路図の整備と、各水路の破損状況を把握する必要がある。
- 地域内に実習農場をもつ吾妻中央高校では、農業用施設の測量や、点検診断等を実地で行える実習の場を求めている。



構成員による水路の点検

### 取組内容

- 水路図の整備や点検診断を実施したい活動組織と、測量などを実地で行える実習の場を求めている吾妻中央高校とで話がまとまり、高校の実習を兼ねて水路図の作成、点検診断と補修を共同で実施することとなった。



水路の点検診断



水路の測量

### 活動の効果と今後の展開

- 平成26年から令和3年にかけて群馬県、東京農業大学などの協力の下、施設の保全管理に役立つ総延長34kmの農業用水路図が作成された。
- 高校生にとって実践的な活動により技術が身につくとともに農地と農業用水への理解が深まった。



水路の補修



完成した水路図

### 【地区の概要】

- ・取組面積：243.8ha  
(田130.2ha、畑113.6ha)
- ・資源量：開水路 105.1km  
農道 51.4km
- ・構成員：自治会、土地改良区、子供会、老人会、地元高校等
- ・交付金：約17.1百万円  
農地維持支払  
資源向上支払(共同、長寿命化活動)